

10
(金)

日ごとのマナ

出エジプト記一六章22〜36節

こうしてイスラエルの人々は、四十年の間、人の住む地に入るまでマナを食べた。(35)

神は朝ごとに天からマナを降らせてくださいましたが、安息日を除いて、その日一日分だけを集めるようにと民に命じられました。欲張って次の日の分も集めて残しておいても、暑さの厳しい荒野では腐ってしまいました。神は日ごとにマナを集めるようにと言われたのです。彼らは約束の地に入るまで、何と四十年間も朝ごとにマナを集め続けました。一日の初めにまずマナを集めることによって彼らは生き延びることが出来たのです。私たちキリスト者も日ごとのマナを食べることによって生きる者たちです。代々の教会は聖書の言葉をマナと呼んで大切にしてきました。朝ごとにまず御言葉のマナを頂くことよってのみ、キリスト者は荒野のようなこの世の旅路を続けることができます。「今日もこの日のかてをお与えてください」と祈りつつ、御言葉を受け続けようではありませんか。